

オキサリプラチンの 治療を受けられる 患者さんへ

監修：筑波大学 医学医療系 臨床医学域 消化器内科学 教授

兵頭 一之介 先生



目次

はじめに	3
オキサリプラチンって？	4
オキサリプラチンの治療を受けるときの注意点	5
オキサリプラチンの投与スケジュール	
FOLFOX 療法	6
XELOX 療法	6
SOX 療法	7
FOLFIRINOX 療法	7
オキサリプラチンによる副作用	
末梢神経障害	8
骨髄抑制	10
消化器症状	12
アレルギー反応	13
脱毛、味覚異常	14
倦怠感・疲労感、間質性肺炎	15
5-FU(フルオロウラシル)やカペシタビンとの併用による主な副作用	16
ベバシズマブとの併用による主な副作用	17
治療日記 (症状チェックシート 記入例)	18
症状チェックシート	19
副作用対処メモ	23

はじめに

現在は、日本人の「二人に一人は」がんになる^{*}といわれるほど身近な病気になっています。がんは、早く見つけて早く治療を始めることがとても大切です。

オキサリプラチンはがん細胞の増殖を抑える働きがあり、その働きを助ける他の薬剤と一緒に使われます。

治療中には、副作用といわれるさまざまな症状が現れますが、それは薬が働いている証拠でもあります。治療の具体的なスケジュール、副作用の種類や起こりやすい時期、副作用への対処法を、ご自分でも理解することで、少しでも心配が軽減され、安心して治療を受けられるようになればと考えています。

治療を受けるうえで不安なことや不明なこと、副作用があらわれた場合には、遠慮なく主治医や薬剤師、看護師等の医療スタッフに相談してください。



オキサリプラチンって？

- オキサリプラチンは、「手術療法」「化学療法」「放射線療法」という3種類の治療法のうち、化学療法で使われる薬です。
- オキサリプラチンは、がん細胞の活発な遺伝子（DNA）の合成を阻止し、がん細胞の増殖を抑えます。
- オキサリプラチンは、大腸がん、膵がん、胃がんの治療に使われます。
- オキサリプラチンは、作用の違う他の薬と一緒に使われることがあります。薬ごとに現れる副作用はちがいますので、P8～17をご覧ください。

オキサリプラチンの治療を受けるときの注意点

《治療前の注意》

- 現在お飲みになっている薬は、すべて主治医にお伝えください。（薬局・薬店で買ったお薬、サプリメント、健康食品も含まれます。）
- 今までに、薬や注射で発疹やかゆみが出たことがある場合は、主治医にお伝えください。
- 他の医師や歯科の治療を受ける場合は、このお薬の治療を受けていることを必ずお伝えください。



《治療中の注意》

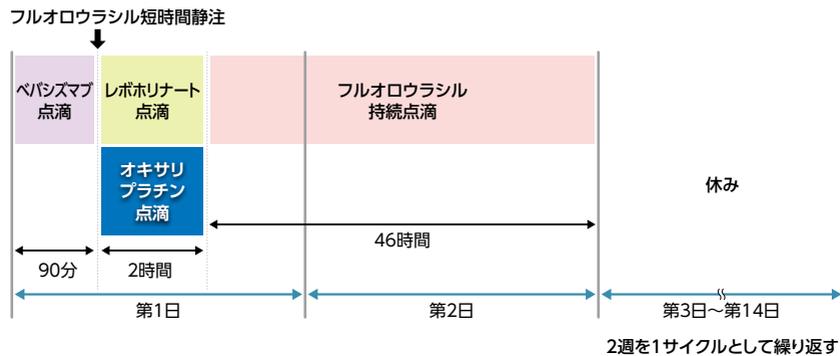
- 点滴中は、毛布を掛けるなど体を冷やさないようにしてください。
- 薬が皮膚に付着すると、腫れたり赤くなったりすることがあるので、点滴中は安静にしてください。
- 注射部位が痛くなったり、腫れてきたり、熱感やかゆみを感じた場合はすぐに主治医や看護師等にお伝えください。
- 点滴中や点滴直後に、気分が悪くなったり、違和感を感じた場合は、主治医や看護師等に申し出てください。

オキサリプラチンの投与スケジュール

フォルフォックス FOLFOX療法：大腸がん

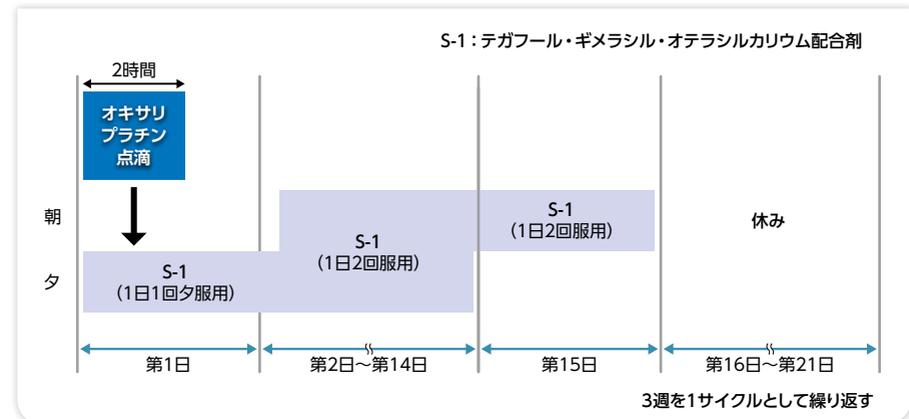
オキサリプラチンにフルオロウラシル(抗がん剤)とレボホリナート(抗がん剤の作用を助ける薬剤)を組み合わせた治療法です。分子標的治療薬*であるベバズマブ等を併用することもあります。

●投与方法一例 (mFOLFOX6+ベバズマブ)



ソックス SOX療法：胃がん、大腸がん

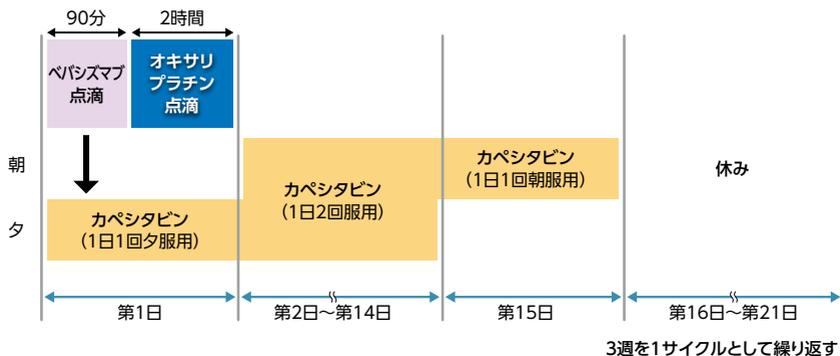
オキサリプラチンに3剤の抗がん剤が配合された経口薬を組み合わせた治療法です。



ゼロックス XELOX療法：大腸がん、胃がん

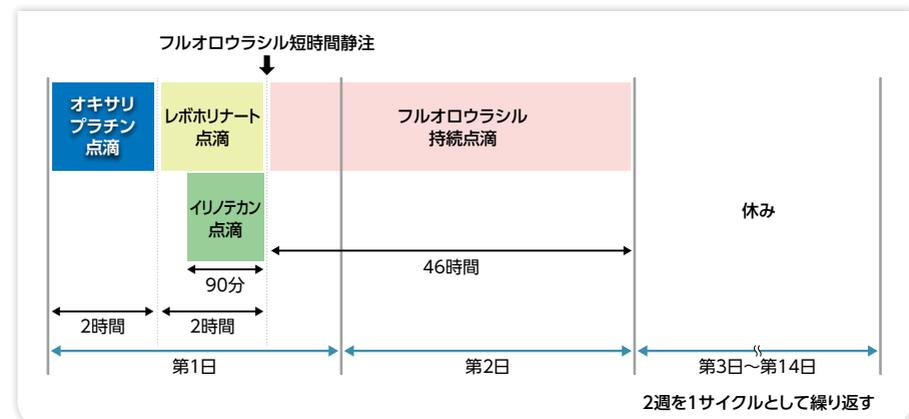
オキサリプラチンに経口薬のカベシタピン(抗がん剤)を組み合わせた治療法です。分子標的治療薬*であるベバズマブ等を併用することもあります。

●投与方法一例 (XELOX療法+ベバズマブ)



フォルフィリノックス FOLFIRINOX療法：膵がん

オキサリプラチンにフルオロウラシル(抗がん剤)とレボホリナート(抗がん剤の作用を助ける薬剤)、イリノテカン(抗がん剤)を組み合わせた治療法です。



*分子標的治療薬:がん細胞の増殖に必要なたんぱく質などの分子を標的として、がん細胞のみを破壊する薬剤

オキサリプラチンによる副作用 ①

多くの患者さんに起こります。

末梢神経障害

【特徴】急性期のものと何回も投与した後から起きてくる蓄積性のものがあります。冷たいものに触れたり、冷たい物を飲食することで、症状が起こりやすく悪化することが多いといわれています。

【起こりやすい時期】 当日～数日間（急性期）
数週間～数ヵ月間（蓄積性）

症 状

- 手、足、口がしびれる
- 舌の感覚がおかしい
- 食べ物、唾が飲み込みにくい
- 冷たいものを飲んだ時に喉がしめつけられる



! 下記のような症状があらわれて、日常生活への影響がある場合は、医療スタッフへ相談してください。

- 手指や足趾のしびれの程度が強い
- 字が書きにくい
- ボタンが留めにくい
- 歩きにくい

対処方法

- 毛布、手袋、靴下、スリッパなどを使用して温かくしましょう。（特に冬場）
- 冷たい食べ物や飲み物は避けましょう。
- 冷たい空気（外気やエアコンの冷気など）に直接あたらないようにしましょう。
- 冷たい物に触れる場合は、手袋を使用しましょう。



オキサリプラチンによる副作用 ②

骨髄抑制

抗がん剤は、骨髄に影響を及ぼし、白血球や赤血球、血小板を減少させます。このことを骨髄抑制といいます。

■ 白血球減少

【特徴】 身体の抵抗力が低下し、感染症を起こしやすくなります。

【起こりやすい時期】 数日～数週間

症 状

- 悪寒や発熱
- のどの腫れや痛み

！ 38℃以上の高熱がでた場合は、
医療スタッフに相談してください。

対処方法

- こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- 外出時はマスクをしましょう。



■ 赤血球減少

【特徴】 治療を繰り返すうちに貧血状態になることがあります。

【起こりやすい時期】 数週間～数ヵ月間

症 状

- めまい
- 動悸、息切れ

対処方法

- 症状がでたら無理せず、安静にしましょう。
- たんぱく質や鉄分などを多く含む食品を摂りましょう。



■ 血小板減少

【特徴】 血が止まりにくくなったり、内出血を起こしやすくなります。

【起こりやすい時期】 数日～数週間

症 状

- 鼻血や歯肉からの出血
- あざがでやすい
- 血便

！ 血便がある場合は、医療スタッフに相談してください。

対処方法

- 歯をみがくときは柔らかい歯ブラシを使って、優しくみがきましょう。
- 皮膚を、強くこすることはやめましょう。
- 転倒やけがに、注意しましょう。

オキサリプラチンによる副作用 ③



消化器症状

【特徴】急性期のものと、遅発性のものがあります。

【起こりやすい時期】（急性期）当日～数日間

（遅発性）数日～数週間

症 状

- 吐気・嘔吐
- 食欲不振
- 下痢

！ 吐気の程度、嘔吐の回数、食事の量、排便の状況を記録し医療スタッフに相談してください。



対処方法

- 処方された吐き気止めを、指示通りに服薬してください。
- 下痢が始まったら、処方された下痢止めを、指示通り服用してください。
- 消化の良い食事を少量ずつ何回かに分けて摂りましょう。
- 脱水症状にならないように、白湯をこまめに摂りましょう。

アレルギー反応

【特徴】急性期のものと、遅発性のものがあります。症状としては軽症のものから重症ものまでさまざまです。

【起こりやすい時期】 当日～数日間（急性期）
数週間～数ヵ月間（遅発性）

症 状

（軽症のアレルギー症状）

- 発赤
- 発疹
- かゆみ

（重症のアレルギー症状）

！ 下記のような症状がでた場合は、直ぐに医療スタッフに相談してください。

- 息苦しい
- 動悸
- 血圧低下



オキサリプラチンによる副作用 ④

脱毛

【特徴】抗がん剤による脱毛は一時的なものです。個人差、治療の組み合わせにより異なります。オキサリプラチンによる脱毛は他の抗がん剤に比べて頻度は低いといわれています。

【起こりやすい時期】 治療開始後 2～3 週間後にはじまり、抗がん剤治療が終わると 1～2 ヶ月で再生がはじまります。



味覚異常

【特徴】一般的に、味覚異常は抗がん剤治療が終わると 1～2 週間で回復するといわれています。

【起こりやすい時期】 当日～数日間（急性期）
数週間～数ヵ月間（遅発性）

症 状

- 金属のような味がする
- 砂を噛んでいるような感じ
- 味がわかりにくい
- 味が濃く感じる

対処方法

- 食前に、レモン水などでうがいをしましょう。
- 舌のブラッシングや歯磨きなどで口の中をきれいにしましょう。



倦怠感・疲労感

【特徴】多くの抗がん剤にみられる副作用です。

【起こりやすい時期】 数日～数週間

症 状

- 体がだるい
- 休んでも疲れがとれない

対処方法

- 倦怠感の出現する時間帯、パターン、持続時間、日内での疲労の変化などを確認し、1 日のスケジュールを調整しましょう。
- 体力低下を防ぐための、十分な水分補給と、栄養価の高い食事を心がけましょう。



間質性肺炎

【特徴】まれに間質性肺炎という呼吸器系の副作用が起きることがあります。進行すると歩くだけでも息切れを感じるようになります。

【起こりやすい時期】 数週間～数ヵ月

症 状

- 息切れ
- 痰を伴わない空咳
- 発熱

! このような症状がでた場合は、直ぐに医療スタッフに相談してください。

5-FU(フルオロウラシル)や カペシタビンとの併用による主な副作用

口内炎

【特徴】約半数の患者さんに起こる副作用です。

【起こりやすい時期】数日～数週間

症状

- 口の中が腫れて痛む
- 口の中がただれる

！ 激しい痛みのために、食事や水分がとれない場合には、必ず医療スタッフに相談してください。

対処方法

- 口の中を清潔にしておきましょう。
- 歯をみがくときは柔らかい歯ブラシを使って、優しくみがきましょう。
- ストローなどを使って水分をとるようにしましょう。

手足症候群

【特徴】手足に、知覚過敏やほてりや腫れなどがあらわれます。

【起こりやすい時期】数週間～数ヵ月

症状

- ヒリヒリ・チクチクする
- 赤く腫れる
- 皮膚にひび割れや水疱が出る

対処方法

- 締め付けの強い靴下や靴は避けましょう。
- 熱い風呂やシャワーを控えましょう。
- 手足に保湿クリームを塗り、乾燥を避けましょう。



ベバシズマブとの併用による主な副作用

高血圧

【特徴】投与開始後、比較的早い時期に発現します。

【起こりやすい時期】数週間～数ヵ月

対処方法

- 定期的に血圧を測定してください。重症の場合は、ベバシズマブの投与を中止することもあります。

蛋白尿

【特徴】尿の蛋白質量が増加する場合があります。蛋白質量が多い場合には、腎臓の働きが悪くなっている可能性があるため、注意が必要です。投与開始後、比較的早い時期に発現します。手足や顔のむくみに注意が必要です。

【起こりやすい時期】数週間～数ヵ月

鼻血

【特徴】鼻や歯肉、膣などの粘膜から、軽度の出血がみられる場合があります。

【起こりやすい時期】数週間～数ヵ月

対処方法

- 多くの場合、出血は自然に止まりますが、しばらくしても出血が止まらない場合は医療スタッフに相談しましょう。

その他の副作用

頻度は高くありませんが、以下のような重篤な副作用が報告されています。

- 口から血液を吐く（咯血／肺出血）
- 脳出血
- 動脈や静脈の中に血液のかたまりができる（血栓塞栓症）
- 胃や腸に穴があく（消化管穿孔）
- 傷口が治りにくくなる（創傷治癒遅延）

治療日記 (症状チェックシート記入例)

治療日記をつけましょう。

治療中は、副作用の症状がつかつたり、不安になることもあります。

治療中の体の状態を確認して、いつごろどんな症状が出たか記録をしておきましょう。

分からないことや不安なことを主治医や薬剤師、看護師等に相談するときの参考にしてください。

記入例

治療開始(1)週目 (8)月(24)日~(8)月()日						
月/日	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	
体温	36.3℃	36.4℃	36.3℃	36.5℃	36.4℃	
血圧 (最大/最小)	135/86	137/80	132/90	134/95	130/84	
食事の量	○	○	△	○	△	
○:食べた △:半分食べた ×:全部残した						
吐き気	0	0	1	0	1	
0:ない 1:がまんできる 2:薬でがまんできる 3:薬を飲んでもがまんできない						
喉の違和感	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有
下痢の回数	0回	1回	0回	0回	1回	
腹痛	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有
便秘	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有
手足の痺れ ^{しび}	0	0	1	0	0	
0:ない 1:少しある 2:痺れはあるが日常生活に影響なし 3:日常生活に影響する 4:感覚ない						
冷たいものへの反応	0	0	0	0	0	
0:治療前と変わらない 1:敏感に反応する 2:強度に影響する(痛みなし) 3:痛みあり						
その他 (日常生活で気になること)				気分が 悪い		

症状チェックシート

治療開始()週目 ()月()日~()月()日

月/日	/	/	/	/	/	/	/
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
血圧 (最大/最小)	/	/	/	/	/	/	/
食事の量							
○:食べた △:半分食べた ×:全部残した							
吐き気							
0:ない 1:がまんできる 2:薬でがまんできる 3:薬を飲んでもがまんできない							
喉の違和感	有/無						
下痢の回数	回	回	回	回	回	回	回
腹痛	有/無						
便秘	有/無						
手足の痺れ ^{しび}							
0:ない 1:少しある 2:痺れはあるが日常生活に影響なし 3:日常生活に影響する 4:感覚ない							
冷たいものへの反応							
0:治療前と変わらない 1:敏感に反応する 2:強度に影響する(痛みなし) 3:痛みあり							
その他 (日常生活で気になること)							

症状チェックシート

治療開始()週目 ()月()日～()月()日

月/日	/	/	/	/	/	/	/
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
血圧 (最大/最小)	/	/	/	/	/	/	/
食事の量	○:食べた △:半分食べた ×:全部残した						
吐き気	0:ない 1:がまんできる 2:薬でがまんできる 3:薬を飲んでもがまんできない						
喉の違和感	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
下痢の回数	回	回	回	回	回	回	回
腹痛	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
便秘	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
手足の痺れ ^{しび}	0:ない 1:少しある 2:痺れはあるが日常生活に影響なし 3:日常生活に影響する 4:感覚ない						
冷たいもの への反応	0:治療前と変わらない 1:敏感に反応する 2:強度に影響する(痛みなし) 3:痛みあり						
その他 (日常生活で 気になること)							

症状チェックシート

治療開始()週目 ()月()日～()月()日

月/日	/	/	/	/	/	/	/
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
血圧 (最大/最小)	/	/	/	/	/	/	/
食事の量	○:食べた △:半分食べた ×:全部残した						
吐き気	0:ない 1:がまんできる 2:薬でがまんできる 3:薬を飲んでもがまんできない						
喉の違和感	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
下痢の回数	回	回	回	回	回	回	回
腹痛	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
便秘	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
手足の痺れ ^{しび}	0:ない 1:少しある 2:痺れはあるが日常生活に影響なし 3:日常生活に影響する 4:感覚ない						
冷たいもの への反応	0:治療前と変わらない 1:敏感に反応する 2:強度に影響する(痛みなし) 3:痛みあり						
その他 (日常生活で 気になること)							

症状チェックシート

治療開始()週目 ()月()日～()月()日

月/日	/	/	/	/	/	/	/
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
血圧 (最大/最小)	/	/	/	/	/	/	/
食事の量	○:食べた △:半分食べた ×:全部残した						
吐き気	0:ない 1:がまんできる 2:薬でがまんできる 3:薬を飲んでもがまんできない						
喉の違和感	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
下痢の回数	回	回	回	回	回	回	回
腹痛	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
便秘	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
手足の痺れ ^{しび}	0:ない 1:少しある 2:痺れはあるが日常生活に影響なし 3:日常生活に影響する 4:感覚ない						
冷たいもの への反応	0:治療前と変わらない 1:敏感に反応する 2:強度に影響する(痛みなし) 3:痛みあり						
その他 (日常生活で 気になること)							

副作用対処メモ

副作用に対する主治医からの対処方法の指示と、その後の状態を書きましょう。

記入例 ▶	8月3日
	症 状 手のしびれ
	対 処 方 法 (主治医からの指示を書いておきましょう。) 冷気にあたらない
	対処後の状態 (次回、主治医に報告) 改善した。

月 日	
症 状	
対 処 方 法 (主治医からの指示を書いておきましょう。)	
対処後の状態 (次回、主治医に報告)	

月 日	
症 状	
対 処 方 法 (主治医からの指示を書いておきましょう。)	
対処後の状態 (次回、主治医に報告)	

月 日	
症 状	
対 処 方 法 (主治医からの指示を書いておきましょう。)	
対処後の状態 (次回、主治医に報告)	

月 日	
症 状	
対 処 方 法 (主治医からの指示を書いておきましょう。)	
対処後の状態 (次回、主治医に報告)	

月 日	
症 状	
対 処 方 法 (主治医からの指示を書いておきましょう。)	
対処後の状態 (次回、主治医に報告)	

